

第3回 小牧市高齢者保健福祉計画推進委員会 議事録

日 時	令和2年7月30日(木) 13時30分～15時30分
場 所	小牧市役所東庁舎 5階 大会議室
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>関谷 みのぶ 名古屋経済大学教授 佐々木 成高 小牧市歯科医師会代表 浅井 宏昭 小牧市薬剤師会代表 田中 秀治 小牧市社会福祉協議会代表 木村 正尚 小牧市民生・児童委員連絡協議会代表 米井 ちさと 春日井保健所代表 土佐 知美 小牧市介護支援専門員連絡協議会会長 伊藤 里美 小牧市介護保険サービス事業者連絡会会長 江口 はづき 介護施設代表 入谷 陽祐 小牧市介護保険サービス事業者連絡会 訪問看護部会代表 四宮 貴美子 小牧市内地域包括支援センター管理者代表 水谷 幸一 連合愛知尾張中地域協議会代表 長田 孝子 小牧市老人クラブ連合会代表 桑山 美知代 公募委員 小林 静生 公募委員</p> <p>【代理出席】</p> <p>飯塚 美由紀 春日井公共職業安定所代表</p> <p>【欠席委員】</p> <p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 前川 泰宏 小牧市医師会代表 加藤 三紀子 ボランティアグループ日向ぼっこ代表 志村 優範 小牧市区長会連合会代表</p> <p>【事務局】</p> <p>伊藤 俊幸 福祉部長 松永 祥司 福祉部 次長 西島 宏之 福祉部 地域包括ケア推進課長 平手 明仁 福祉部 介護保険課長 澤田 昌利 福祉部 保険医療課長 野村 有紀子 福祉部 介護保険課保険資格係長 倉知 佐百合 福祉部 地域包括ケア推進課福祉政策係長</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>資料1 小牧市高齢者保健福祉計画推進委員会設置要綱</p> <p>資料2 委員名簿</p> <p>資料3 第7次小牧市高齢者保健福祉計画進捗状況管理シート</p> <p>資料4 小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査結果報告書</p> <p>資料5 高齢者保健福祉計画に関する実態調査結果(抜粋)</p> <p>資料6 第8次小牧市高齢者保健福祉計画骨子(案)</p>

資料7	第8次小牧市高齢者保健福祉計画目次構成（案）
資料8	策定スケジュール
当日資料	配席表

1. 開会

(1) あいさつ

- ・ 関谷副会長あいさつ

2. 議題

(1) 第7次小牧市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

- ・ 事務局より、資料3：第7次計画の進捗管理シートを用いて、説明。
- ・ 質疑、主な意見は以下の通り。

□ 第4章 いきいきとした潤いのある暮らしづくり

田中委員)

- ・ 新型コロナウイルスの関係から、実績は低迷している、達成状況としては芳しくない部分があるが、1. 健康づくりと介護予防では、いきいきポイントや専門職派遣、介護予防推進リーダーや介護予防体操など、事業としては活発であった印象がある。
- ・ サロンやカフェなどは今、どうなのか、小林委員にその辺りの実際の状況をお教え願いたい。

小林委員)

- ・ オレンジカフェを開催していたが、2、3回スタッフと打合せをし、再開に向けて動いていたところ、東京で大幅に増え、小牧でも2人出たため、中止にした。
- ・ 9月を目途に再開しようと、地域包括支援センター、地域包括ケア推進課と打合せをしている。

田中委員)

- ・ 数字だけではわからない部分があり、実際の現場に携わっている方の声を大事にしていきたいと思う。

関谷副会長)

- ・ 達成状況の○、×だけが全てではないと思うし、皆さまが生活していく中で感じたことも含めて計画へどのように反映していくかなど、遠慮なくご発言いただければと思う。

□ 第5章 自立を支え合う地域づくり

小林委員)

- ・ パンフレットや広報こまきを使用した周知・啓発という言葉が多くあった。大変失礼だが、それでは動かないと思う。
- ・ 先ほど田中委員からのお話にもあったように、現場に顔を出し、現場を見ていただくことが、カフェを実施している側としては大事なポイントだと思う。
- ・ 地域包括支援センターはすごくバックアップしてくれている。9月を目途に再開しようということで、地域包括ケア推進課、社会福祉協議会にも来ていただいた。リスクを冒してでも現場へ出ることが重要だと思う。

佐々木委員)

- ・ 新型コロナウイルスと関連して、歯周病についてお話をしたい。細菌性の肺炎の致死率は、1日に400人程度であり、新型コロナウイルスはまだ合計で1,000人程度、3日あれば新型コ

コロナウイルスを超える死亡者数である。

- ・ 新型コロナウイルスにより死亡された方の中には、おそらく細菌性の肺炎で亡くなられた方もいらっしゃると思う。
- ・ 細菌性の肺炎は誤嚥性だけでなく血行性もあり、歯周ポケットからバクテリアが侵入することでも起こり得る。
- ・ いきいき世代個別歯科健診の受診率を上げるために、お声がけをお願いしたい。
- ・ 歯周病対策は早い段階からケアすることが大事。日本人の80歳代は、約87%が入歯やブリッジを入れているが、スウェーデンは約5%である。
- ・ この差は若いころからケアしているかどうか、定期的に歯科にかかることが大事である。
- ・ 口の筋力低下（オーラルフレイル）による食べこぼしやむせ、固いものが食べられないなど、咀嚼機能の低下は、食の多様性が失われる。
- ・ 食の多様性が失われると、全身の筋力低下を招き、介護に繋がってしまう。
- ・ 栄養を摂取する咀嚼機能は非常に大事であり、また、歯が抜けてしまう原因の一つである歯周病のケアも大事である。歯が抜けると、認知症に繋がるという研究結果も出ている。

関谷副会長)

- ・ 知らないことが一番恐ろしいことなので、皆さんと情報共有していくことが大事だと思う。

桑山委員)

- ・ 新型コロナウイルス発生以前と後では、随分変わった。
- ・ 入院している家族や知人に会えないという方もたくさんいたと思う。通所サービス、老人ホームなどの面会制限はどの程度で、いつ解除されるのか。もし、これから感染者が増え、会えなくなるならば、通いたくない、入りたくないと思う方もいると思う。
- ・ 老人クラブの会合でも麻雀が今はできないとか、今後の計画をこの渦中であってどう策定していくのか。
- ・ 多くの老人は家に籠もりがちである。家の中でも活動というか、何かできるようなことがあると良いと思う。

関谷副会長)

- ・ 次回以降の計画の中身を詰めていくときに反映できればと考える。
- ・ 前回、こまき山体操のケーブルテレビ配信なども出た。

江口委員)

- ・ 3月から面会中止をした。会えないままなので、写真を撮って手紙を送った。会えないけど、施設まで来て、激励の声を掛けてくださる方もいた。
- ・ その後、WEBの面会を開始し、5月の2週目ぐらいから、外で距離をとった直接面会を土日を含めて10日間実施した。
- ・ 現在はガラス越しの面会もしているが、感染拡大を考えると、ほとんどの施設が面会制限をかけていくことになると思う。

□ 第6章 質が高く安定した介護保険事業運営

- ・ 特になし。

(2) 第8次小牧市高齢者保健福祉計画の策定に向けた実態調査の結果について

- ・ 事務局より、資料4、5：第8次計画の策定に向けた実態調査結果を説明。
- ・ 質疑、主な意見は以下の通り。

小林委員)

- ・ アンケートのとり方について、介護保険認定者を前回2,000人から今回1,000人にしたことと、回収率について、高くなるよう期待を込めて話したことがあるが、前回調査時より少し下がってしまったこと。この2点について伺いたい。
- ・ 自分でアンケートをしてみたが、健常者でも大変な労力を使うというのに、介護認定者の方は何日かかってこのアンケートにお答えいただいているのかと思うほど、設問が多く感じた。

事務局)

- ・ 今までは、無作為抽出で書面をお送りする調査だったが、国が推奨する調査方法で、介護をしている介護者、現場の声を聞くという意味が大きいと思うが、そういった調査を推奨されており、7次計画の際はできていなかったが、8次計画の際に、介護認定を受けている方の更新調査時に市の調査員が600件程度聞き取り調査をした。この調査結果には掲載していないが、調査方法を少し変えたため、調査対象の人数が減った。介護離職が増えている関係もあり、生の声を聞くということに重点を置いた。
- ・ 回収率については以前の会議でご意見をいただいていた。回収率を高めるため、回収率が高くなるであろう時期に調査期間を設定した。
- ・ アンケート設問については、国からの調査項目が示された。全ての項目ではないが、必須の項目が多くあった。非常に労力が要ることになるのは重々承知しているが、このような調査項目での実施となった。

関谷会長)

- ・ 調査項目は、どのような調査でも多くなりがちであり、回答側の負担が議論になることが多い。
- ・ 一方で、経年変化を見るためには必要な項目であったり、国等から指示された項目であったり、市独自で今後の検討資料とするために欲しい項目など、難しい部分である。
- ・ だからこそ、調査結果を分析し、どのように計画に活かし、市民に還元していくかを考えなければならぬ。

(3) 第8次小牧市高齢者保健福祉計画の骨子(案)について

- ・ 事務局より、資料6、7：第8次計画の骨子(案)、目次構成について説明。
- ・ 質疑、主な意見は以下の通り。

佐々木委員)

- ・ 真面目な方、しっかりしている方が主にアンケートに回答していると思われ、生活習慣病の方の統計も織り交ぜて結果を出せると本当の結果に近くなる。
- ・ 可能であればそういった方からアンケート結果をとるために介護認定審査の調査員の方にアンケートをサポートしていただくと良いと思う。
- ・ そうすることで、今までとは少し違った全体的にマイナスな調査結果が出るのではないかと考える。

関谷副会長)

- ・ 無作為か作為的かということも気になるが、アンケートの取り方をより実態に近い形にしていければと思う。

事務局)

- ・ 時間の制約もあり厳しい部分もあると思うが、貴重なご意見として今後検討する。

(4) その他 策定スケジュールについて

- ・ 事務局より、資料8：第8次計画の策定スケジュール(案)について説明。

事務局)

- ・ 事務局にて、議事録を作成後、委員の皆さまに確認していただき、公開させていただく。

3. 閉会